



JASDAQ

平成28年7月29日

各 位

会社名 株式会社シーエスロジネット
代表者名 代表取締役社長 高木 敏明
(JASDAQ・コード番号 2710)
問合せ先 取締役社長室長 乙守 俊秀
TEL (052) 354-7797

〔訂正〕「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成26年8月8日に開示いたしました「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、本日公表の「有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社シーエスロジネット
 コード番号 2710 URL <http://www.indis.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 敏明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 山本 孝人 TEL 052-354-7797
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,708	△13.2	△30	—	△12	—	△1	—
26年3月期第1四半期	3,121	△27.1	△62	—	△39	—	△34	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △7百万円(-%) 26年3月期第1四半期 △45百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.42	—
26年3月期第1四半期	△7.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	6,780	3,637	53.7	767.87
26年3月期	7,117	3,645	51.2	769.51

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,637百万円 26年3月期 3,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	△7.2	100	—	100	—	100	—	21.11
通期	13,000	△5.7	300	—	320	—	300	—	63.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	5,257,950株	26年3月期	5,257,950株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	520,601株	26年3月期	520,346株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	4,737,436株	26年3月期1Q	4,734,604株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株高の影響を受け景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れ懸念など景気の押下げ要因も依然として存在しており、雇用情勢の回復に伴う個人消費の改善が期待されたなか、消費者物価の上昇の影響を受け、市場全体としては厳しい状況で推移しました。

当社グループの事業領域のうち、映像ソフト市場におきましては、ディズニーの「アナと雪の女王」が興行収入250億円を越し、社会現象ともなり映画市場は堅調に推移したものの、映像ソフトレンタル市場においてはブラジルで開催されたサッカーワールドカップの影響もあり、やや厳しい市況で推移しました。

音楽ソフト市場では、映画「アナと雪の女王」のサウンド・トラックが100万枚を越すヒットとなり、CDの生産高のうち、洋楽は前年同期を上回ったものの、邦楽が前年同期を下回り、全体ではやや厳しい市況で推移しました。

コンシューマーゲーム市場におきましては、本年2月に発売されたソニー・コンピューターエンタテインメントの「Play Station 4」が比較的好調なスタートを切ったものの、その後4月以降、消費税増税の影響もあり販売台数が伸びず、厳しい市況で推移しました。

このような厳しい市場環境のもと、当社グループは、売上高の縮小が見込まれる中、売上総利益率の改善に努めるとともに、大阪営業所と大阪商品センターの一本化など業務効率の向上と経費削減を積極的に推進いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が2,708百万円と前年同期比で13.2%減少したものの、減少幅は想定範囲に収まりました。売上高の減少により売上総利益は減少しましたが、売上総利益率の改善と経費削減に努めたことにより、営業損失は30百万円（前年同期は62百万円の営業損失）、経常損失は12百万円（前年同期は39百万円の経常損失）となり、四半期純損失は1百万円（前年同期は34百万円の四半期純損失）と損失幅を圧縮することができ、連結業績予想につきましては、修正はございません。

セグメント別の業績は次の通りであります。

[卸売事業]

a. 音楽映像ソフト

当部門の売上高は、映像ソフトにおける販売用DVDは比較的堅調に推移したものの、レンタル用DVDにおいては、レンタル店におけるレンタル料金の低価格化による店舗収益の圧迫による、仕入予算の縮小の影響を受け減少したことなどから、前期比16.6%減の1,915百万円となりました。

b. コンシューマーゲーム

当部門の売上高は、「Play Station 4」の販売が計画値を下回ったことから、前期比17.0%減の266百万円となりました。

c. 関連商品

当部門の売上高は、CD-R、DVD-R等の既存商品の売上高が減少傾向にあるなか、バラエティグッズをはじめとした新たな商材の販売を強化した結果、前期比0.9%増の132百万円となりました。

d. その他

当部門の売上高は、前期比4.8%減の176百万円となりました。

以上により、卸売事業全体の売上高は、前期比15.1%減の2,490百万円となりました。

[小売事業]

当部門の売上高は、インターネットを利用した通信販売を強化したことにより、前期比16.8%増の217百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度における総資産は6,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円の減少となりました。また、純資産の残高は3,637百万円となり、7百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産においては、前連結会計年度末に比べ304百万円減少した3,861百万円となりました。主な要因は、売上高が前年度末より少なかったことによる受取手形及び売掛金の減少と棚卸資産の減少によるものです。

固定資産においては、前連結会計年度末に比べ32百万円減少した2,918百万円となりました。主な要因は、敷金及び保証金の一部返還と投資有価証券の売却による減少によるものです。

(負債)

流動負債においては、前連結会計年度末に比べ272百万円減少した2,710百万円となりました。主な要因は、仕入高が前年度末より少なかったことによる支払手形及び買掛金の減少によるものです。

固定負債においては、前連結会計年度末に比べ57百万円減少した431百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済と社債の償還によるものです。

(純資産)

純資産においては、前連結会計年度末に比べ7百万円減少した3,637百万円となりました。主な要因は、四半期純損失を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表しました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	608,594	826,958
受取手形及び売掛金	1,430,845	1,086,044
有価証券	461	1,106
たな卸資産	1,848,978	1,661,558
その他	<u>284,892</u>	<u>290,961</u>
貸倒引当金	<u>△6,951</u>	<u>△4,636</u>
流動資産合計	<u>4,166,821</u>	<u>3,861,992</u>
固定資産		
有形固定資産	675,793	678,088
無形固定資産	122,048	117,204
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>802,106</u>	<u>771,181</u>
敷金及び保証金	<u>820,649</u>	<u>815,343</u>
その他	<u>545,507</u>	<u>550,766</u>
貸倒引当金	<u>△15,351</u>	<u>△14,220</u>
投資その他の資産合計	<u>2,152,913</u>	<u>2,123,070</u>
固定資産合計	<u>2,950,755</u>	<u>2,918,363</u>
資産合計	<u>7,117,577</u>	<u>6,780,355</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<u>2,222,431</u>	<u>1,946,330</u>
未払法人税等	<u>78,570</u>	<u>43,695</u>
賞与引当金	50,219	25,440
役員退職慰労引当金	315,313	-
その他	<u>316,383</u>	<u>695,262</u>
流動負債合計	<u>2,982,917</u>	<u>2,710,728</u>
固定負債		
社債	84,800	70,400
長期借入金	253,708	218,050
役員退職慰労引当金	5,329	5,631
その他	145,174	137,874
固定負債合計	<u>489,012</u>	<u>431,955</u>
負債合計	<u>3,471,929</u>	<u>3,142,684</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,510	598,510
資本剰余金	545,000	545,000
利益剰余金	<u>2,828,657</u>	<u>2,826,666</u>
自己株式	<u>△142,231</u>	<u>△142,300</u>
株主資本合計	<u>3,829,937</u>	<u>3,827,876</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>57,537</u>	<u>51,622</u>
土地再評価差額金	<u>△241,827</u>	<u>△241,827</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△184,290</u>	<u>△190,205</u>
純資産合計	<u>3,645,647</u>	<u>3,637,671</u>
負債純資産合計	<u>7,117,577</u>	<u>6,780,355</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,121,233	2,708,151
売上原価	<u>2,748,273</u>	<u>2,367,162</u>
売上総利益	<u>372,960</u>	<u>340,988</u>
販売費及び一般管理費	435,654	371,175
営業損失(△)	<u>△62,694</u>	<u>△30,186</u>
営業外収益		
受取利息	1,415	1,607
受取配当金	750	600
有価証券売却益	15,692	15,183
受取手数料	1,755	917
その他	6,839	2,394
営業外収益合計	<u>26,452</u>	<u>20,703</u>
営業外費用		
支払利息	2,139	1,530
支払保証料	560	441
為替差損	—	1,362
その他	59	21
営業外費用合計	<u>2,758</u>	<u>3,355</u>
経常損失(△)	<u>△39,000</u>	<u>△12,838</u>
特別利益		
保険解約返戻金	1,075	—
投資有価証券売却益	—	5,173
特別利益合計	<u>1,075</u>	<u>5,173</u>
特別損失		
減損損失	—	2,674
特別損失合計	<u>—</u>	<u>2,674</u>
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△37,924</u>	<u>△10,338</u>
法人税、住民税及び事業税	6,765	2,253
法人税等調整額	<u>△9,899</u>	<u>△10,600</u>
法人税等合計	<u>△3,134</u>	<u>△8,347</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△34,790</u>	<u>△1,991</u>
少数株主損失(△)	△184	—
四半期純損失(△)	<u>△34,606</u>	<u>△1,991</u>

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△34,790</u>	<u>△1,991</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	<u>△10,483</u>	<u>△5,915</u>
その他の包括利益合計	<u>△10,483</u>	<u>△5,915</u>
四半期包括利益	<u>△45,274</u>	<u>△7,906</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△45,090</u>	<u>△7,906</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△184	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,935,284	185,948	3,121,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	2,652	2,664
計	2,935,297	188,600	3,123,898
セグメント利益又は損失(△)	<u>53,832</u>	△31,093	<u>22,739</u>

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	<u>22,739</u>
セグメント間取引消去	450
全社費用(注)	△85,883
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△62,694</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,490,970	217,181	2,708,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	882	—	882
計	2,491,852	217,181	2,709,033
セグメント利益又は損失(△)	<u>58,334</u>	△7,434	<u>50,900</u>

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	<u>50,900</u>
セグメント間取引消去	450
全社費用(注)	△81,537
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△30,186</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。